マナーモード設定

マナーモードを設定/解除する



マナーモードを設定する

▼ ▽ を長く(1秒以上)押す。

「曾:マナーモード」が点灯します。 また、マナーモードの設定内容に応じて「置」 (留守表示)「M」(バイブレータ)「⑤」(サイレント)「⑤」(ステップ)も表示されます。 (変育P.3-4)

●ウェブの情報画面やメールの画面(リスト画面、メッセージ画面など)、Vアプリ利用中でも設定/解除することができます。

マナーモードを解除する

| マナーモードが設定されている待 受中に、[★] を長く(1秒以上) 押す。

「黴」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードに設定すると

- ボタン確認音/エラー音/パワー ON/パワー OFF時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。
- マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- ミュージックモードで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声が、V602SH のスピーカーから聞こえなくなります。(オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用しているときは、イヤホンから聞くことができます。)
- ■簡易留守 、着信音量、バイブレータ、ランブ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。



- ●マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。(このとき「會」が点滅します。)
- ●マナートークモードを設定していなくても、通話中に 図書 を長く(1 秒以上) 押す と、マナートークモードの設定をすることができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- ●簡易留守 の 音中は、相手の声が受話口から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき自動的に設定される機能(簡易留守 、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ)を変更します。

●お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

簡易留守 とマナートークモードを設定します。

- ●4点6点 → 「■簡易留守録」/「⑤マナートークモード」選択 → → 「■ON」/「②OFF」選択 → → (戻る)
- ●マナートークモードに設定すると、マイクの感度を上げて、通話中に小さな声で話しても 伝わるようにします。

_ 着信音量 / バイブレータ

着信音量とバイブレータを設定します。

●4365 → 「②着信音量」/「③バイブレータ」選択 → ● → 「■通常着信」~「⑥配信確認」選択 → ● → 設定内容選択 → ● → ② / ② /)

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定

■ 着信設定の着信音量 ($\mathfrak{C}_{\overline{a}}$ P.8-2) やアラーム設定のアラーム音量調節 ($\mathfrak{C}_{\overline{a}}$ P.15-10) を「サイレント」に設定していると、音量は「サイレント」になります。また「音量 1 」 \sim 「音量 5 」に設定していると、設定されている音量までの「ステップ」になります。(「音量 3 」に設定しているとき:「音量 1 」 \rightarrow 「音量 2 」 \rightarrow 「音量 3 」)

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■ 着信設定のバイブ設定(**© P.8-4**) やアラーム設定のバイブ設定(**© P.15-10**) を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプ設定

「**通常動作**」「**スモールライト**」「**O**FF」のいずれかに設定します。

- ●4歳6歳⇒「10万円」●10万円<l
- 変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定(CFP.8-2)などで設定されている内容に従う	
スモールライト	スモールライトが点滅	
OFF	すべて点滅しない	

サウンド再生音量 / Vアプリ再生音量

サウンド再生音量とVアプリ再生音量を設定します。

Vアプリ バイブレータ

Vアプリバイブレータを設定します。

3-4